

COVID-19 感染症（呼吸器内科）

臨床研究の名称	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対するグルココルチコイド療法の有効性を検証する多施設共同後方視的研究
研究責任者の所属・氏名	神奈川県立循環器呼吸器病センター 呼吸器内科 部長 小倉 高志
研究の概要	<p>【目的】</p> <p>グルココルチコイド療法は、過去に流行したコロナウイルス感染症（SARS や MERS）の際に広く用いられました。今回の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的流行に際しても、他の治療薬とともにしばしば使用されていますが、WHO は使用を推奨していません。しかし、過去のコロナウイルス感染症（SARS）においては、ウイルスが排出された後にも炎症反応が持続し、加えて病理学的にはびまん性肺胞障害が惹起されると報告されていることから、グルココルチコイドの抗炎症効果は期待できると考えられます。</p> <p>今回は、COVID-19に感染した患者さんのデータを後方視的に集積し、実臨床におけるグルココルチコイド投与群・非投与群を比較して、グルココルチコイドの有効性を評価します。さらに、どのような患者さんに効果があるか、最適な投与量・開始時期・継続期間なども併せて検討します。</p> <p>【対象患者】</p> <p>2020年1月から2020年4月までにCOVID-19感染症と診断され、入院を要した患者さん</p> <p>【方法】</p> <p>上記の患者さんを対象に下記情報を収集し、個人を特定できないように処理して、神奈川県立循環器呼吸器病センター呼吸器内科主任部長/副委員長 小倉高志医師のところに集められ、解析を行います。その他、富士フイルム富山化学株式会社が実施しているファビピラビルの治験結果の考察への利用のため、収集した情報を匿名化した上で、富士フイルム富山化学株式会社へ提供します。</p> <p>【使用する情報】</p> <p>患者背景（症状発現日、診断日、入院日、性別、年齢、身長、体重、人種・地域、合併症の有無と治療、喫煙歴等）、入院中のレントゲン・CT 所見や自覚症状、COVID-19 に対して実施した治療の詳細と転帰等、CT 画像</p> <p>【結果の公表方法】</p> <p>結果は学会等で公表しますが、必要な情報のみ統計資料として集計しますので、当院外にお名前や個人情報が出ることはありません。この研究全体の結果を、研究終了後、対象者に伝える予定はありません。</p>

	<p>【終了後の情報の取扱い】</p> <p>研究終了後、収集資料は個人を特定できない形にして保管され、他の研究等に利用される場合があります。その場合は改めて倫理審査を受けます。</p>
問い合わせ先	<p>神奈川県済生会横浜市東部病院 呼吸器内科 医長 後町 杏子 〒230-8765 横浜市鶴見区下末吉 3-6-1 電話番号 045-576-3000（代表）</p>

※ 研究に情報を提供したくない場合は2021年2月28日までに上記にお申し出ください。お申し出いただいても不利益を生じることはありません。上記の問い合わせ先までご連絡いただけましたら、その方の情報は本研究に利用しないようにいたします。